

「窒素を活用した新熱処理研究部会」成果報告会のご案内

従来の窒化や軟窒化の枠にとらわれず、窒素の効果を最大限に活用した新たな熱処理技術に関する研究部会「窒素を活用した新熱処理研究部会」は、2022年12月に発足し、40名を超える会員メンバーにより、2026年3月末までの約3年間にわたり活動してまいりました。

窒化に関する研究部会としては、「窒化研究部会」（故 松尾 孝 部会長、2006～2007年）、「浸窒焼入れの有効利用に関する研究部会」（奥宮正洋 部会長、2014～2016年）に続く活動となります。本研究部会では、窒素の利活用によるメリットの具体化・数値化・最大化を図るとともに、浸炭や高周波熱処理に対する差別化・特異性を明確にすることを目指し、文献調査に加えて、金属組織や機能特性に関する技術データの収集・整理を進めてまいりました。研究部会メンバーをはじめ、関係者の皆様から多大なるご支援をいただき、おかげさまで所期の目標をほぼ達成することができました。

そこで、これまでご協力いただいた皆様への感謝の意を表するとともに、本研究部会の活動成果を広く皆様にご紹介するため、下記の要領で成果報告会を開催いたします。研究部会の委員以外の協会会員（正会員・維持会員）の皆様、ならびに非会員の皆様にもご参加いただけます。活発な意見交換の場となりますことを期待しておりますので、奮ってご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。なお、報告会終了後には情報交換会（懇親会）も予定しております。お時間の許す限り、ぜひご参加ください。

■開催日時

2026年11月27日（金）13:30～17:00 ※開始時間変更

■開催場所（東京）

日本橋公会堂（東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目31-1）2F 大洋室（第3＋第4洋室）
 東京メトロ 半蔵門線「水天宮前」駅6番出口から徒歩2分、日比谷線「人形町」駅A2出口から徒歩5分、
 東西線「茅場町」駅4-a出口から徒歩10分
 ※銀座プロッサム中央会館より変更

■成果発表

1. 挨拶・概要説明
 渡邊陽一（日本パーカライジング㈱）／宮本吾郎（東北大学）
2. 研究部会活動成果の報告
 - (1) プロセスと組織・機能：文献調査・整理（WG1-1）
 宮本吾郎（東北大学）
 - (2) プロセスと組織・機能：実験データ収集（WG1-2）
 高木真一（不二WPC㈱）
 - (3) 窒化変形（WG2）
 赤塚寛之（住友重機械工業㈱）／今橋智則（ヤマナカゴーキン㈱）
 - (4) 複合プロセス（WG3）
 石塚はる菜（日本パーカライジング㈱）／生田智章（鳥取県金属熱処理協業組合）
3. 全体総括・全体質疑応答

■参加費

- ・委員：無料
- ・委員以外の会員：2,000円（資料代）
- ・非会員：5,000円（参加費・資料代）

■情報交換会（懇親会）【予定】

17:15～、会費制¥6,000
 翠蓮 CHINESE RESTAURANT（会場から徒歩2分程度）

■申し込み方法：

事務局まで、メール（jsht-honbu@jsht.or.jp）にて、①氏名、②所属、③会員（会員番号）・非会員、④懇親会（参加・非参加）、⑤連絡先（email アドレス）をご連絡ください。
 申込締切り：2026年11月13日（金）
 ※準備の都合、研究部会委員の方も出欠のご連絡を御願い致します。